

第四回

谷口裕和の会

平成二十七年九月二十七日(日)

昼の部 午後一時半開場／二時開演

夜の部 午後五時半開場／六時開演

渋谷セルリアンタワー能楽堂

入場券 八、〇〇〇円

(全席指定)

■特別出演

尾上 右近

・片岡千之助

■演奏出演者

清元

清元 一太夫 社中
清元 昴 洋 社中

長唄

松永忠次郎 社中

鳴物

堅田新十郎 社中

■制作協力

オフィス ヴィスコンティ

■主催

谷口 裕和

一、長唄 松廼寿三番叟

大河原一郎 扇面

一、長唄 賤 機 帯

弥生花浅草祭

一、清元 三 社 祭

班女の前 谷口 裕和

舟 長 片岡千之助

(特別出演)

悪 玉 尾上 右近

(特別出演)

善 玉 谷口 裕和

— 前売券切符取扱所 —
(8月2日発売)

●谷口裕和事務所
TEL.03(3774)0059

●Web予約
<http://www.visconti.jp>



片岡千之助
(特別出演)



尾上右近
(特別出演)

松廻寿三番叟

しまつのことぶきさんばそう

能楽をはじめ日本のすべての芸能儀礼の初めに演じられるものとして神聖視されてきた三番叟は、歌舞伎にも古くから取り入れられていて劇場の開場式や舞台開きなどおめでたい行事に祝舞として上演されてきました。

能の「翁」をベースとしたもので天照大神を象徴すると伝えられています。一種の儀式(神事)である三番叟は鈴なりに実った稲穂の形をした鈴を手に持ち、「五穀豊穡」「天下泰平」「子孫繁栄」「平和祈願」「国土安泰」を祈願する舞踊曲です。

今回は、世界遺産熊野本宮大社で奉納舞踊させて頂いた折の構成で前半に松の翁の一節を入れ格調高く序幕を飾ります。

賤機帯

しずはたおび

桜満開の隅田川を舞台にした、あるひとりの母親の悲しみを描いた作品です。能「隅田川」「桜川」(人買いにさらわれた我が子・梅若を探して、京から遠く武蔵国・隅田川まで下ってきた母は、渡し場の舟長の口から、梅若がすでに死んでいることを聞かされます。岸辺の塚で行われている大念仏の法要は、梅若の一周忌の法要なのでした。)を元にした作品です。

子を探す母親が物狂いを見せ幻の梅若を追い続けます。舟長に退屈しのぎにからかわれ桜を扱う趣向を採り入れ、鞆鼓を打ちながら桜のもとで狂い続けます。狂おしい中に美しさがある場面を描き出しています。

今回は、片岡千之助丈に特別出演いただきこの大曲に挑みます。

三社祭

さんじゃまつり

今回の公演の締めくくりは、いきのよい若者二人の、躍動感あふれる、粋で爽やかな踊りが見所です。浅草観音の縁起をもとに、漁師二人がゆさゆさと身体をゆすつて小舟に乗って登場します。これは、船が揺れているのでなく、三社祭の山車の人形が揺れていることを表しています。網を打つ様子などを見せた後、流行歌の軽快な手踊り、ドロドロの太鼓が入り善玉、悪玉が乗り移り踊り出します。

悪尽くし、新内がかりのクドキ、最後に玉尽くしを軽妙に息もつかせぬ踊りで幕となります。

今回は、尾上右近丈に特別出演いただき江戸の粋な世界をお楽しみいただけます。

会場

セルリアンタワー能楽堂
CERULEAN TOWER 能楽堂
NOH THEATRE

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号B2F

■電車

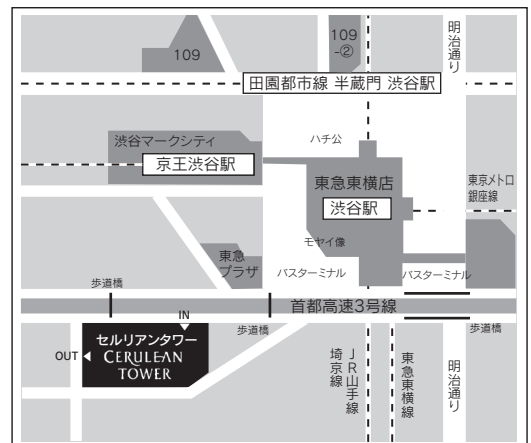
東急東横線・田園都市線、JR山手線・埼京線東京メトロ銀座線・半蔵門線、京王井の頭線の渋谷駅より徒歩5分

■成田空港より／リムジンバスで約110分

■羽田空港より／リムジンバスで約50分

■東京駅より／JR山手線(外回り)で約25分

■首都高速／渋谷ランプより約15分



題字
川邊りえこ

